

事務事業名	水力発電所維持管理事業		所属部局	総合政策部	単位番号	2092				
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	地球温暖化対策室	課長名	深澤 安丸				
			所属担当	自然エネルギー推進担当	担当者名	河野慎介				
基本政策	基本計画	IV 快適で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
政策	19	自然環境の保全と活用	事業区分	01	一般	04	01	05	090	04
施策	32	自然と共生する地域づくり		<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業					
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 21 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	法令根拠		<input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 補助金交付事業					
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 金山沢川水力発電所が安定した発電量が得られるよう、施設の維持管理を行う事業。 ①発電所管理用の消耗品、電気料、修繕料 ②遠隔管理のための通信料及びサービス利用料 ③発電所施設保守点検料等 ④河川法更新手続き(5年更新) 次回は、平成29年度 発電した電力は芦安山岳館、温泉ロッジ、白鳳会館に供給し、余剰電力は売電している。		事業費の主な内訳 (25年度 決算見込)							
			項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)				
			普通旅費	0	通信運搬費	132				
			消耗品費	200	手数料	0				
			燃料費	68	施設維持管理委託料	1,317				
			光熱水費	130	機械及車輛借上料	1,441				
			修繕料	500	計	3,788				

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない
25年度活動実績	⇒	ア 発電平均出力 kw/月
26年度活動予定	⇒	イ
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない
金山沢川水力発電所	⇒	ア 発電所 箇所
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしているのか、どのように変えるのか)	⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない
①安定した発電が行える。 ②供給施設の電力料金が低く抑えられる。 ③発電によって生み出された余剰電力が売電できる。	⇒	ア ①発電量 kwh/年
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	⇒	イ ②東京電力への支払料金 円/年
公共施設からのCO2排出量が減り温暖化対策が推進される。	⇒	ウ ③余剰電力の売電料金 円/年
	⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない
	⇒	ア 公共施設におけるCO2の排出量 t
	⇒	イ

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	23年度 (決算・実績)	24年度 (決算・実績)	25年度 (決算見込・実績)	26年度 (予算・目標)	27年度 (計画・目標)	28年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
事業費	内訳	国庫支出金	千円							
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円	2,990	2,000	3,788	5,841	5,841	5,841	
		一般財源	千円	890	2,351	0	0	0	0	0
		事業費計(A)	千円	3,880	4,351	3,788	5,841	5,841	5,841	0
人件費	内訳	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2	
		延べ業務時間	時間	960	960	960	960	960	960	
		人件費計(B)	千円	4,369	4,369	4,369	4,369	4,369	4,369	0
		(A)+(B)	千円	8,249	8,720	8,157	10,210	10,210	10,210	0
活動指標	ア	kw/月		52.1	30.3	37.0	50.0	50.0	50.0	
	イ									
	ウ									
対象指標	ア	箇所		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
	イ									
	ウ									
成果指標	ア	kwh/年		447,880.0	260,350.0	320,000.0	450,000.0	450,000.0	450,000.0	
	イ	円/年		2,234,392.0	1,858,967.0	1,900,000.0	1,700,000.0	1,700,000.0	1,700,000.0	
	ウ	円/年		2,649,926.0	1,673,064.0	5,000,000.0	6,221,000.0	6,221,000.0	6,221,000.0	
上位成果指標	ア	t		6,120.0	6,059.0	5,998.0	5,938.0	5,879.0	5,820.0	
	イ									

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	小水力発電の活用は平成17年度に策定された南アルプス市地域新エネルギービジョンにより計画された。金山沢川発電所は、H20年度事業として着手され、H21年度に繰越し、H22年2月1日から供用開始されている。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	異常気象や温暖化などにより、環境保全に関する市民の関心は高まっている。また、東日本大震災により節電意識の高揚が見られるなか、太陽光や小水力など、新エネルギーの開発、利用の推進が求められている。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	市にとっては先進的な取り組みのため、事業効果などの検証が求められている。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	発電量確保のための取水方法の検討、供給施設の節電対策を実施した。 平成24年7月施行の固定買取制度により調達(売電)価格が、これまでの3倍強に認定された。 系統連携側の影響により発電停止する事象が発生していたが、原因究明を行った。
③ H 25年度に実施した改革改善の内容	渇水期でも稼動するように、水調機能の下限値を調整し、不稼動時間を短縮させた。

事務事業名	水力発電所維持管理事業	所属部	総合政策部	所属課	地球温暖化対策室
-------	-------------	-----	-------	-----	----------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 自然エネルギーの導入促進は施策の重点事業であり、温暖化対策に取組む施策の目的に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 南アルプス市温暖化対策実行計画に掲げられ、率先して取組む事業であることから市が関与することは妥当である。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 発電所の維持管理業務であるため継続した取組みが必要である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 より有効な取水方法を検討することにより、電気料金の更なる削減、充電量の増加が見込める。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 平成26年度を目標とする温暖化対策実行計画の目標値で <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 温暖化対策と公共施設の経費削減を目指し導入した事業であり、休止や廃止できない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 必要最小限の予算で実施しており削減の余地はない。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 必要最小限の職員で実施しており削減の余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 温暖化対策と公共施設の経費削減を目的としているため、公平・公正である。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	自然が相手なので大変な面もありますが、今後も、取水方法を試行錯誤しながら進めていく。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について ① 新たな取水方法の検討と改良																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 ① 取水方法改良に伴う財源措置	(5) 事務事業優先度評価結果 平成25年度																					
	成果優先度評価結果 ⑪																					
	コスト削減優先度評価結果 ⑥																					